

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	名古屋市		地区名	栄・伏見・大須地区			面積	571ha		
交付期間	令和元年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	80百万円		国費率	0.47			
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場):栄ミナミ地区道路空間、高質空間形成施設(緑化施設等):栄ミナミ地区道路空間										
		提案事業	-										
		事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	-				-			-			
		提案事業	-				-			-			
	新たに追加し た事業	基幹事業	-				-			-			
		提案事業	-				-			-			
	交付期間 の変更	当 初	令和元年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響	-							
変 更		なし											
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標			従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
			単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	歩行者通行量(平日)	人/年	31,021	H28	32,000	R2		37,058	○	あり なし	デジタルサイネージやシェアサイクルポートの設置などにより歩行者の回遊性が向上し、歩行者通行量の増加に繋がった。	R3.12
	指標2	歩行者通行量(休日)	人/年	50,721	H28	53,000	R2		60,974	○	あり なし	デジタルサイネージやシェアサイクルポートの設置などにより歩行者の回遊性が向上し、歩行者通行量の増加に繋がった。	R3.12
	指標3	放置自転車台数	台/年	2,146	H28	2,000	R2		2,169	△	あり なし	有料駐輪場やシェアサイクルポートの整備を行ってきたが、栄地区周辺の開発工事の影響などもあり、結果として全体の減少には至らなかった。一方で、久屋大通では減少傾向であり、次期計画でも継続して事業を行うことに加え、名古屋市自転車利用環境基本計画の自転車施策と連携し、官民共同でシェアサイクルポートの新設や駐輪場整備を進めるため減少が見込まれる。	R3.12
	指 標			従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
			単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1												
	その他の 数値指標2												
	その他の 数値指標3												
4)定性的な効果 発現状況	都心部での新たな道路空間再配分を演出するため、平成29年12月に栄ミナミまちづくり株式会社(都市再生推進法人)が行ったプリンスス大通りパークレット社会実験時や久屋大通公園の再開発事業完了後は、地域全体の魅力が向上し新たなにぎわいが創出された。また、官民連携の都市利便増進協定による、シェアサイクルポート(自転車駐車器具)の設置後、年間1ポートあたりの利用者は増加しており、まちの回遊性や魅力の向上に寄与している。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加 プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり 体制の構築		栄ミナミまちづくり株式会社(都市再生推進法人)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き、持続的な「安全で賑わい溢れる歩道空間」の創出に向け、官民連携による取組みを進めていく。		

※ 栄・伏見・大須地区は、平成29年度に道路占用許可等の特例制度の取組のみの計画としてスタートし、平成31年1月の第1回変更で事業を計画に追加して、令和元年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間:H29～R2 交付期間R1～R2)
上表の当初計画は、平成31年1月の第1回変更計画である。

様式2－2 地区の概要

栄・伏見・大須地区（愛知県名古屋市） 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「世界に誇る都心づくり」の実現 目標:回遊性向上・にぎわい創出の相乗効果による風格と魅力ある都市空間の形成		歩行者通行量(平日)	単位:人	31,021	H28	32,000	R2	37,058	R2
		歩行者通行量(休日)	単位:人	50,721	H28	53,000	R2	60,974	R2
		放置自転車台数	単位:台	2,146	H28	2,000	R2	2,169	R2

伊勢町通(歩道拡幅)

デジタルサイネージ(都市利便増進協定)

伊勢町通(自転車駐車場)

シェアサイクル(都市利便増進協定)

凡 例

- 基幹事業
- 関連事業

まちの課題の変化	公共空間を活用しやすい仕組みづくりを確立できていない、地区内移動のための交通サービスなどの対策が不十分といった課題に対し、デジタルサイネージ、シェアサイクルポート、パークレットの整備を行ったことにより、商業と共存する、安全・安心なまちづくりが進み、魅力と活力のある新たな都市空間の創出や栄地区、伏見地区、大須地区の回遊性の向上につながった。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	栄・伏見・大須地区の次期計画(R3～R6)において、更なる栄ミナミ地区の歩道空間の再整備をすすめ、地区の特徴を活かしたまちの魅力が感じられ、安全で快適な魅力的なまちづくりの実現を進めるとともに、道路占用許可特例、都市公園占用許可特例、都市利便推進協定を活用した官民連携による持続的な「安全で賑わい溢れる歩道空間」の創出を図ることにより、栄・伏見・大須地区全体の回遊性や魅力の向上につなげていくよう努める。また、名古屋市自転車利用環境基本計画の自転車施策と連携し、官民共同でシェアサイクルの普及、駐輪場の整備等を行い放置自転車の抑制に努める。

※ 栄・伏見・大須地区は、平成29年度に道路占用許可等の特例制度の取組のみの計画としてスタートし、平成31年1月の第1回変更で事業を計画に追加して、令和元年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間:H29～R2 交付期間R1～R2)
上表の当初計画は、平成31年1月の第1回変更計画である。